

## はじめに

こんにちは。

本書は、世界中のたくさんの人々によって、幅広い用途で使われているプログラミング言語である Java の問題集です。全部で 1264 問 (!! ) という、多くの問題を解きながら、プログラミング言語 Java について、さらに、その言語を用いたプログラミングについての学習を進めていきます。

さて、みなさんが<sup>かず</sup>数の学習を始めたときのことを思い出してみましょう。1 桁どうしの整数の足し算も、指を折りながら行いましたね。反復練習したり、応用的な問題を解きながら、算数や数学を身につけたのではないのでしょうか。また、英語などの語学の学習も同様でしょう。文の中の単語を一つだけ入れかえて、よく似た別の文を作ったり、同じ意味を表すための、異なる言い回しの文を作ったりして、理解を深めたのではないのでしょうか。

もちろん、ただ多くの問題を解くばかりではダメですが、みなさんが身につけてきた算数力や英語力<sup>りよく</sup>の少なからぬ部分は、地道な学習の積み重ねや、反復的なトレーニングによるものであるはずで

このような考えのもとに、基礎レベルの Java を用いたプログラミング力<sup>りよく</sup>を身につけることを目指している みなさんに贈るのが、本書『解きながら学ぶ Java 入門編』です。少しずつ構いませんので、1264 問を一つずつ解いていきましょう。本書の問題は、実際の教育の現場において、学習効果が確認されたものばかりです。

すべての問題をスラスラと解けるようになったら、[初心者レベル] を卒業できるはずです。

なお、本書は、柴田望洋 著『明解 Java 入門編』の全演習問題が含まれており、その補助テキストあるいは解答集としても利用できるようになっています。

本書が、みなさんの Java 言語トレーニングの一助となれば幸いです。

平成 20 年 4 月

柴田 望洋

由梨 かおる

## 本書の構成

本書は、柴田望洋著『明解 Java 入門編』（ソフトバンククリエイティブ、2007）の全演習問題を含んでいます。そのため、同著と同じく全15章の構成となっています。

▶ 『明解 Java 入門編』の第9章のタイトルは「日付クラスの作成」ですが、本書では「単純なクラスの作成」となっています。

各章は、〔プログラム作成問題〕と〔錬成問題〕とから構成されます。

### ■ プログラム作成問題 … 196 問

プログラムを作成する問題であり、本書のオリジナル問題と『明解 Java 入門編』の演習問題とがあります。解答プログラムだけではなく、詳細な解説も示します。

### ■ 錬成問題 … 1068 問

Java とプログラミングに関する用語や概念を問う問題と、プログラムの空欄を埋める形式の問題から構成されています。〔プログラム作成問題〕よりも難易度の高い問題も含まれています。全章分の錬成問題の解答は、pp.505～512 にまとめて示しています。

いわゆる中級者・上級者と呼ばれるすべての人々が、本書に示すような問題を解いて学習を進めてきたわけではありません。とはいえ、そのような人々が、本書に示す程度の問題をいとも簡単に解ける、というのも事実です。

本書の学習上のポイントや、本章で出題している問題の意図などについては、「おわりに」(p.513) で解説していますので、そちらもご覧ください。

▶ 本書は、『明解 Java 入門編』の演習問題に加え、それを応用した問題（さらに、それを応用した問題）が含まれます。そのため、同著と比べると、本書は《言語そのもの》よりも《プログラミング》に重点をおいて説明しています。また、難易度も高いものとなっています。

本書の内容が難しく感じられるようでしたら、『明解 Java 入門編』とあわせてお読みいただくと幸いです。同著では、プログラミング言語 Java そのものと、それをを用いたプログラミングの両方をバランスよく解説しています。